

看護・介護の現場では、多量の排便が寝衣やシーツを汚染し、看護・介護者がその始末に多くの時間を費やす場面をよく目にする。一方、多くの病院や介護施設では、1日のスケジュールの中でおむつ交換の時間があらかじめ決まっているため、要介護高齢者は長時間便汚染にさらされ、そのことがびらんや褥瘡悪化などの原因になっている場合がある。何より、臀部や会陰、背部など広範囲に広がった排泄物が長時間皮膚に接触している不快感は、要介護高齢者のQOLを著しく損なう。そこで私たちは、排泄物を皮膚に直接接触させないケアを目的とし「人工腎筋」と「新式おむつ（人工腎筋つきおむつ）」を開発した。

人工腎筋は、外枠の長さが32×34cmの楕円形のクッションで、3層にわたって組み合わせた低反発素材と高反発素材で構成されている。厚さは前部6cm、後部3cmで、中心部には幅6×13cmの穴が空いている。人工腎筋の上にカバーをかけ、新式おむつを装着して使用する（写真）。新式おむつは、会陰に当たる部分が袋状のバッグになっていて、排泄すると便がそのバッグ内に収納される仕組みになっている。バッグは約300mlの水分量を吸収する高分子吸収素材でできているため、軟便や水様便が漏れにくい。

便漏れが劇的に改善

この人工腎筋つきおむつを5名の要介護高齢者の方に試用していただいた（表）。全員が要介護5で、4名が同じ介護老人保健施設に入所しており、1名は在宅で他施設のショートステイを利用していた。いずれも便の性状は水様で軟らかく、おむつからの漏れや衣服、寝具の汚染が頻回にあったが、人工腎筋つきおむつを使用したところ、臀部の便汚染範囲が縮小し、おむつ漏れトラブルも大幅に減少した。さらに、排便のたびにびらんが生じ、仙骨部に1〜2度の褥瘡をくりかえしていた1名が、人工腎筋つきおむつ使用後にはどちらも発生していない。

QOLを高める「人工腎筋つきおむつ」の開発

弘前医療福祉大学保健学部看護学科
佐藤厚子
同短期大学部生活福祉学科
工藤雄行

これは人工腎筋が仙骨部の圧迫を回避し、便が会陰部に直接当たる面積が縮小したためと考えられる。

このように、人工腎筋つきおむつは、要介護高齢者の皮膚トラブル軽減や介護者の負担軽減に寄与すると考えられるが、課題もある。装着方法にコツがいるのと、装着時に下半身のふくらみが目立ち、見た目がよくないとの意見もあることだ。装着時の目印となるマークをつけたたり、サイズ展開を増やすなどして対応中である。

本人の尊厳を守り 介護者負担も軽減

まだ改良の余地はあるが、ある施設スタッフは「今までは効率が悪先され、いかに早く仕事をすることが課題だった。しかし、それはあくまでスタッフ側の視点。これからの介護は、まず要介護高齢者の尊厳を保つことを考えるべき。この人工腎筋つきおむつはその点を評価できる」との感想を述べていた。また、試用者の主介護者は「装着方法に慣れるまでが少し大変だったが、使用すると床ずれがなくなり、何より排便のたびに便が肌になくなくなった。便の量が多くてもバッグに収まるため、お尻を丁寧に洗ってもかかる時間は10分以内で、以前とは比べものにならないほどおむつ交換が楽」、本人も「おしりが痛くなくて、車椅子に座るのも楽だ」と話していた。

人工腎筋つきおむつは、要介護高齢者と介護者のQOL向上に同時に寄与する介護用品である。これから、利用者本人や家族、看護・介護現場のスタッフの意見を参考にし、より扱いやすくなるように努力を重ねたい。

なお、この人工腎筋つきおむつは株式会社ユニケアから販売されている。

文献

- *1 Atsuko Satoh, et al : Diaper with cushion buttock, Geriatr Gerontol Int, 14(1), 233-235, 2014.

表●施設スタッフによる試用評価

病名	年齢	性別	期間(月)	便の性状	便袋への収納率	おむつからの漏れ回数		臀部の汚染範囲	
						使用前	使用后	使用前	使用后
脳梗塞後遺症	78	女性	2	水様～泥状	ほぼ100%	毎回(背中、鼠径部から)	ほとんどなし	臀部～背・肛門周囲のみ	臀部～背・肛門周囲のみ
ピック病	76	男性	2	下痢～軟便	20～100%	毎回(鼠径部から)	鼠径部からときどき	臀部前部・鼠径部のみ	臀部前部・鼠径部のみ
脳梗塞	78	女性	1.5	下痢～軟便	ほぼ100%	頻回(鼠径部や臀部前部分から)	試用期間中2、3回	臀部前部・鼠径部のみ	臀部前部・鼠径部のみ
アルツハイマー型認知症	89	男性	2	普通～軟便	ほぼ100%	ときどき(鼠径部から)	ほとんどなし	臀部前部・鼠径部のみ	臀部前部・鼠径部のみ
パーキンソン症候群	92	女性	8	水様～泥状	ほぼ100%	頻回(背部から)	なし	臀部～背・臀部の1部に限局	臀部～背・臀部の1部に限局

写真●人工腎筋と新式おむつ



写真提供: (株)ユニケア

佐藤厚子 (さとうあつこ)

弘前医療福祉大学保健学部看護学科
〒036-8102 青森県弘前市小比内 3-18-1